

令和四年 南都 春日・興福寺古儀

たきぎ

お

の

薪御能



火影ゆらめく幽玄模様。

◎五月二十日金

咒師走の儀

十一時

春日大社舞殿

金春流能 「翁」

金春憲和 他

南大門の儀

十七時三十分

興福寺南大門跡「般若之芝」

金春流能 「葛城」

金春安明 他

火入れ 興福寺衆徒

大藏流狂言 「飛越」

茂山忠三郎 他

金剛流能 「鵜飼」

金剛永謹 他

◎五月二十一日土

御社上の儀

十三時三十分

春日大社直会殿

金春流能 「野守」

金春穂高 他

南大門の儀

十七時三十分

興福寺南大門跡「般若之芝」

観世流能 「玉鬘」

観世喜正 他

火入れ 興福寺衆徒

大藏流狂言 「棒縛」

茂山千之丞 他

宝生流能 「春日龍神」

辰巳満次郎 他

令和4年

5月20日金・21日土

「場所」 春日大社 舞殿・直会殿

20日(金) 11時開演(事前受付開場:10時、当日受付開場:10時15分)

21日(土) 13時30分開演(事前受付開場:12時30分、当日受付開場:12時45分)

興福寺 南大門跡「般若之芝」

17時30分開演(事前受付開場:16時、当日受付開場:16時15分)

協賛券 事前受付 ¥5,000

郵便受付ほか

協賛券 当日受付 ¥5,500

春日大社・興福寺会場の受付

全席自由席 (団体を除く)

奈良県文化会館 国際ホール
雨天時 ※当日の13時頃決定

※演目・出演者は、都合により変更する事があります。
※写真・ビデオ(携帯電話の撮影機能を含む)の撮影を禁止しております。
※お席は自由席となります。また、春日大社会場においては座席数に限りがあり、一部のお客様には立ち見をお願いする場合がございます。

鑑賞のご案内 興福寺会場のみ一般席(無料・立見)がございます。雨天の場合、南大門の儀は奈良県文化会館にて開催いたしますが、無料席はございません。

[主催] 薪御能保存会

TEL.0742-30-0230

薪御能 検索

[後援] 奈良県・奈良市・奈良県教育委員会・奈良市教育委員会・朝日新聞社
[協力] 春日大社・興福寺

薪御能では、安全・安心にご鑑賞いただくために、ご来場される皆様以下のようなご協力をお願いしております。

- 当日はマスクを着用してのご来場及び、入口での検温・消毒にご協力ください。
- 入場時の検温で37.5度以上の熱がある方はご入場いただけません。その他、強い倦怠感、感冒様症状(咳、咽頭痛、息苦しさ等)、味覚・嗅覚異常などの異変がある場合はご来場をお控えください。
- 今後の状況により、開催を中止又は内容を変更する場合がございます。中止又は内容を変更する場合は、開催の1ヶ月前を目途にお知らせいたします。

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)を活用しましょう。



COCoAは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができるスマートフォンアプリです

新能

たきぎ

お

のう

南大門の儀 (興福寺南大門跡「般若之芝」)
5月20・21日 17時30分始

近年、各地で野外能や新能が行われていますが、古来、新能といえは、興福寺南大門前の芝生で演じられてきたものを指し、各地の新能は戦後これに慣らったものです。



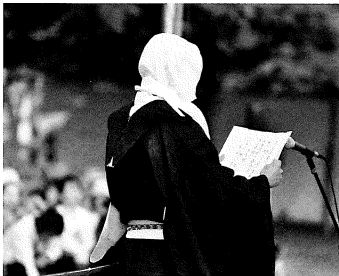
869年、興福寺修二会で新猿楽が舞われたと伝えられており、能楽が大成される室町時代には、最も盛況を極めたといわれています。

20日は春日大社舞殿で「咒師走(しゅしはしり)の儀(11時から)、21日は春日大社直会殿で「御社上(みやしろあがり)の儀(13時30分から)」がそれぞれ奉納された後、両日とも17時30分から興福寺南大門跡「般若之芝」で「南大門の儀」が執り行われます。

観世(かんぜ)・金春(こんばる)・宝生(ほうしよう)・金剛(こんこう)の能楽四座による能と大藏流による狂言が演じられます。また、興福寺衆徒(僧兵)の手によって篝火に火が入れられ、観る人々を幽玄の世界へと誘います。

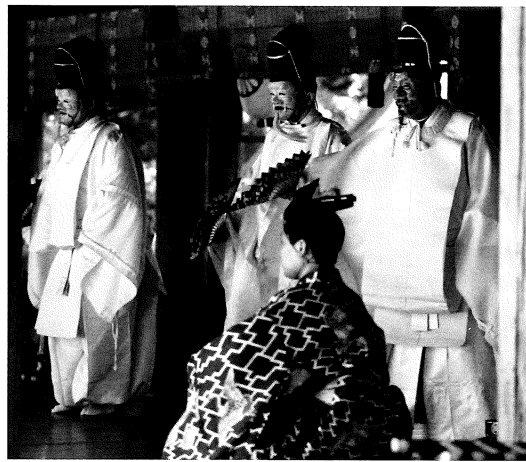
舞台あらため・外翳義

当初、新御能は、舞台が野外の芝生であったため、紙を敷き踏んで芝の状態をみたさされています。現在ではその必要はありませんが、芝の湿り具合で能の有無を決めていた事を今に伝えるため演能の前に興福寺衆徒(僧兵)により「舞台あらため」が行われ、人々にその結果を伝える外翳義文が読み上げられます。これらの儀式は他では見ることのできない新御能だけの特色です。



咒師走の儀 (春日大社舞殿) 5月20日 11時始

ここで奉納される翁(おきな)は、淨衣姿の三人の翁と、素襖姿の三番二丁(さんばんにじょう)で動める古いかたちを留め、また「十二月往来」は、現行観世流のものより一段と古雅な詞章を伝え、宝数えのめでたい章句がつくのが特徴です。



御社上の儀 (春日大社直会殿) 5月21日 13時30分始

「社頭法楽」の最も古いかたちとも言える御社上りの儀は、神殿を背にして、「四方正面」の型で行なわれ、また橋掛かりは通常の反対で右側となり、非常に珍しい舞台となります。

※令和4年度は、若宮の20年に1度の御造替による社殿の建て替え工事に伴い、「御社上の儀」は春日大社直会殿において開催いたします。



(若宮での新御能)

【新御能関連企画】

新御能入門講座

要予約

「御能を楽しむ、奈良で楽しむ」開催!

能楽師の方から新御能当日の演目の解説とお能の魅力をお聞きます。

【講師】5月20日(金) 金春穂高 師(金春流シテ方)
5月21日(土) 辰巳満次郎 師(宝生流シテ方)

【日程】2022年5月20日(金)、21日(土)

【時間】20日(金) 13:30~15:00頃
21日(土) 15:30~17:00頃

【場所】興福寺会館 (三重塔横)

【参加費】2,000円

【予約・問合せ】

NARAタイム (<https://narashikanko.or.jp/naratime/ja>)
0742-30-0230 (平日午前9時~午後5時まで)

※会場へのお越しは、公共交通機関をご利用ください。